
令和5年度

事業報告書

社会福祉法人育美会
花の人の家

令和5年度事業報告

総評

コロナに関しては感染者は出たが、近隣病院の診察協力、スタッフの柔軟なシフト体制が出来たことで深刻な感染拡大はなく対応が出来た。今後も対応を振り返り、最善の対策を施していく。

今後コロナ5類への移行と共に生活をいかに安全に環境に合わせていくかを考えていく。

入居者の健康管理に関しては、月2回の訪問診療と日常のスタッフのケアにより、病状の早期発見に繋がった例もあった。今後もさらに入居者の個々の生活に関心を持ちアプローチできるチームを作るべく、施策を行っていく。

スタッフの研修は現状も配信型の研修が多くを占めていて参加出来ている。今後対面型の研修に積極的に参加できるよう情報を集めていく。

育美会3施設の交流は今年度積極的に行えなかったが、来年度は文化祭の開催や誕生会の参加など入居者と園児が交流できる場所を設定し実行していく。

1. 接遇基本方針

コロナの感染、年間平均を超えた入居、退居数などで大きな環境を変えるには至らなかったが初詣、お花見など細かな外出機会が増えた事は良かった。

2. 地域との連携

夏には社会福祉協議会からボランティア3名を4年ぶりに受け入れた。地域の連携会議にも出席した。これからも地域との連携の強化は積極的に行っていく。

3. 医療機関との関わり

訪問診療が入居者にとって継続した体調の維持と安心感を与えている。またコロナ感染時に近隣の医療機関との連携が出来たことにより施設負担を減らすことが出来た。

救急搬送では協力病院に受け入れてもらえることが出来た。今後も迅速に対応してもらいたい事ができるように努力していく。

4. 生活

(1) 食事について

安心、安全な食事を提供することが出来た。行事食も提供し、外出が少ない入居者へ季節感を感じる食事を提供できたと思う。今後も費用対効果をよく考え、喜ばれる食事を提供していく

(2) クラブ活動

クラブ活動教室の増室は1つ行うことが出来た。来年度はさらに増やすことを目標にして入居者の生活の充実につなげたい。また施設開催のクラブ活動なども模索していく。

5.行事計画

随時行うことが出来た。入居者にも喜んで頂けた。ホームページに掲載し施設活動をアピールした。

6.会議・委員会

いずれも適宜行うことが出来た。議事録を取り、施設運営に役立てていく。

7.入居者確保

川越市だけでなく近隣の機関からも問い合わせを頂いている。引き続き関係を強化するために受けた案件には前向きに対応していく。また事実調査などは来てもらうだけでなく、こちらから伺うなど今後もスピードを意識した対応を心掛けていく。

年間を通して2, 3名の待機者を持つことが出来ているが、年間の入退去も多くなっているので一時的に足りなくなる場面もあった。今後はさらに増やすべく施策を施していく

令和2年度より開設したインスタグラムはフォロワー1,300件を超え、認知度向上に貢献している。

今後もSNSは積極的に活用し、施設の認知度を上げるだけでなく、入居へむけたアピールなどにも活用していく。